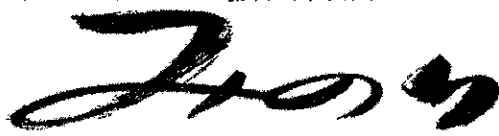


山武農林振興センター 振興普及だより

山武の



ホームページ <http://www.pref.chiba.jp/apcenter/sanbu/>

山武農林振興センター

山武農業改良普及事業協議会

〒283-0006 東金市東新宿1-11

☎0475-54-0226 F A X 52-7914

広がれ！稲を利用した飼料生産

～ホールクロップサイレージ・飼料米の動き～



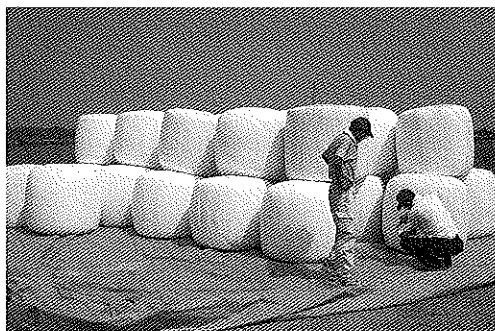
専用機械で収穫するWCS

近年、畜産農家は輸入飼料の高騰等により、経営が圧迫されています。また、国・県では、食料自給率の向上及び畜産経営の安定を図るため、可能な限り国内で飼料生産を行うことを推進しています。一方で、主食用米においては生産調整が行われています。このようなか、耕種及び畜産農家の連携による水田を活用した自給飼料生産として、稲ホールクロップサイレージ（子実と茎葉の全てを活用する稲発酵粗飼料・稲WCS）や飼料米の生産、利用が広がっています。

●山武地域での取組み
今年度は、東金市80a（稲WCS）、山武市7・2ha（飼料米4・2ha、稲WCS3ha）、横芝光町24ha（稲WCS）で行われました。特に、横芝光町では「横芝光町ホールクロップサイレージ推進組合」が設立され、耕種農家と畜産農家双方が協力して収穫調整作業を行いました。今年の稲WCSは10a当たり2100kg（生重量）2400kg（生重量）収穫できました。



密閉してサイレージ化



肉牛・乳牛で利用されるWCS

当センターでは、今後とも各市町・JA等の関係機関と連携し、水田を活用した飼料生産の取り組みを支援していきます。

●酪農でも利用拡大
生産されたサイレージは昨年度までの肉牛農家に加え、本年度からは酪農家でも利用されています。利用する農家の方々からは「すごく嗜好性が良い」「品質も良さそうで、輸入飼料より安価」などの声があがっており、来年以降の継続した取り組みが期待されます。

大網白里町

直売所を核とした消費者交流

大網白里町では、昨年、緑の風大網店、いなほ農産物直売所と二つの直売所がオープンし、農産物等の直売に取り組み農家が増えています。そのような中で「新鮮で、おいしい農産物、安全・安心を地元の消費者に届けたい」という思いが高まっています。この思いを消費者にも知ってもらうために、今年から直売所の役員を中心に消費者交流会として収穫体験や農場見学を開催しています。

2月の葉タマネギ・ホウレンソウを皮切りに、7月にトウモロコシ、9月には栗拾い・空芯菜の収穫体験を行いました。参加者には、旬の野菜等の収穫や試食を楽しんでいただくとともに、栽培方法や出荷するまでの苦労などを生産者と話をして理解を深めていただきました。

「地元で、こんな野菜を作っているとは知らなかった」「プロ農家のお話が、家庭菜園の参考になった」という声が聞かれ、リピーターも増えています。



ホウレンソウの収穫を楽しむ親子

今後も、消費者と生産者の交流を広め、地域農業への理解が深まり、農産物の直売等、地産地消が一層活性化するように取り組みます。

各地の話題

燃油高騰を乗り切ろう!

いよいよ冬本番です。省エネ対策にきちつと取組み、燃料消費量は節減しながら、収量・品質を落とさないように次の点をチェックしましょう。

省エネ対策の

チェックポイント

① 暖房機の点検

- ・ 缶体の掃除をしましたか。
- ・ バーナーノズルの交換をしましたか。
- ・ 空気量の調整は大丈夫ですか。

② 保温性確保の点検

- ・ 被覆資材は汚れていませんか。
- ・ 天窓・側窓・出入り口等に隙間はありますか。
- ・ 内張カーテンは汚れていませんか。破れていませんか。
- ・ カーテンのつなぎ目に隙間はありますか。

③ 適温管理

- ・ 作物にあった温度設定をしましたか。
- ・ 設定温度と実温に差はありませんか。
- ・ センサーの位置は適正ですか。
- ・ 温度ムラはありませんか。
- ・ 適温管理を行っていますか。

施設の改善

- ① 暖房機の交換・型の古い暖房機は熱効率が悪く、燃料消費量が多くなります。
- ② 被覆資材の交換・展張年数の長い被覆材・汚れや破損は保温性が落ちます。
- ③ カーテンの多層化・一層カーテンを二層に変えることで20%の節油になります。
- ④ 循環扇の導入・温度ムラをなくし、病気の発生も抑制できます。



定植の終わったいちごのハウスで

芝山町殿部田でいちごの栽培に取り組む大木克之さんを紹介します。
克之さんは農家の出身ですが親の方針もあり農業は継がず、茨城県で靴屋の店長を任されていました。仕事に追われる生活の中、いちご狩りを体験したことで自分のペースで仕事の出来る農業に興味を持つようになりました。そこ



産 地ががんばっています！

小売業の経験を生かし
魅力ある農業を実践

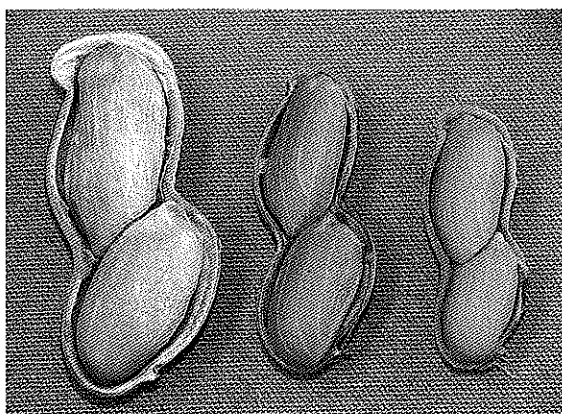
で、6年前に就農し、いちご栽培に取り組み始めました。
栽培は両親と共に行いながら、販売部門は克之さんに任されています。靴屋の店長だった経験を生かし、新たな販売方法に挑戦しています。はにわ道沿いに直売所を持つ他、ゴルフ場での委託販売、高齢者への配達サービスも行っていきます。
直売所では毎回試食を用意し、味に納得してから購入してもらおうようにしています。食べた人から直接おいしいと言ってもらえることに、農業の喜びを感じています。
今後はいちご狩りや、加工など販路を広げる予定です。「やり方しだいで農業はもうかる。」と、農業の今後を担う若き農業者は頼もしく語ってくれました。



紹 紹介します！千葉県が育成した品種 驚きの大きさ！ 良食味のゆで豆向きジャンボ落花生

「おおまさり」

「おおまさり」は千葉県農林総合研究センターで平成5年に「ナカテユタカ」に極大粒品種の「ジェンキンスジャンボ」を交配して育成され、平成20年に品種として登録されました。
従来のゆで豆向き品種「郷の香」と比べると、ゆで豆1粒の重さが「郷の香」の平均1.3gに対して1.4gに対して「おおまさり」は平均2.8gと倍ほど大きく、食味も柔らかくて甘みが強く良好です。粒の揃いが悪く上ざや率は低いものの、1粒が大きいいため、上ざや重では「郷の香」の1.2倍ほどの収量があります。ゆで豆としての収穫期は開花期後85日と郷の香(同70日)よりも遅く、5月下旬播種の場合9月下旬10月上旬の収穫となります。
平成21年からは各農協や日本種苗協会傘下の種苗店等の取り扱いで種子が販売されます。千葉県では奨励品種への採用を予定しており、今後の栽培拡大が期待されます。



左からおおまさり、ナカテユタカ、郷の香のゆで豆

シリーズ

事業計画書をつくらう

農産加工販売へのステップ 最終回

事業計画書とは①事業の内容
 容②販売先等③資金④収支見
 込みを記入したものです。今
 考えていることを表にし、活
 動内容を明確にしましょう。

①事業の内容は、開業開始時
 期、目的、販売する商品名、
 セールスポイント等です。
 自分の「売り」を再確認す
 ることが必要です。

②販売先・原料仕入れ先、買
 っしてほしい客層を想定しま
 す。ターゲットを明確にし
 ます。

③必要な設備や当面の運転資
 金とその調達方法など、自
 己資金と見合わせて計画し

ます。

④一日の加工量と売上、経費
 を推定して年間の売上と利
 益目標を決めましょう。

自分の得たい所得が確保で
 きるよう計画を検討しまし
 う。

仲間を見つけよう

山武地域では、一人では
 きかないことをみんなの力をあ
 わせたり、異業種との交流を
 図る「山武起業家連絡会」が
 組織されています。良きライ
 バルとして、共に伸びる仲間
 と連携して、起業活動を成功
 させましょう。

千葉県農業大学校 学生募集

来年度の願書受付が12月22
 日から始まります。農学科30
 名・研究科10名を募集しま
 す。

願書用紙や試験日程など詳
 しいことは、千葉県農業大学
 校までお問い合わせくださ
 い。
 ☎0475(52)5121

センターからのお知らせ

平成20年度
**指導農業士・
 農業士認証者紹介**

11月7日、千葉市内で、今
 年度の指導農業士・農業士の
 認証式典が開催され、山武地
 区では指導農業士2名、農業
 士4名が新しく認証されまし
 た。

▼指導農業士

指導農業士は、農業技術・
 経営管理能力等に優れてお
 り、担い手の指導に理解と熱
 意があり、積極的な指導支援
 活動ができる方です。

- 小川英明さん（山武市）
 養豚・採卵鶏
- 北田 守さん（山武市）
 養豚

▼農業士

農業士は、地域農業の中核
 的な農業者で、青年農業者の
 集団活動においてリーダー的

な方です。

- 齊藤昭洋さん（九十九里町）
 施設野菜・水稲
- 中村昭和さん（九十九里町）
 肉用牛

- 伊藤佳明さん（横芝光町）
 施設野菜・露地野菜・水稲
- 早川茂芳さん（横芝光町）
 施設野菜・露地野菜・水稲

**新規就農者向け
 セミナーのお知らせ**

新しく就農した方を対象に
 した経営体育成セミナーを開
 講しています。内容は、肥料
 や農薬等の基礎知識（講義）、
 先進農家への視察研修などで
 す。

関心のある方は農林振興セ
 ンターまでお問い合わせくだ
 さい。
 平成21年度は5月開講の予
 定です。